



夕刊 七月二十三日発行

童話 さくらんぼ

島田忠夫

新學期になつて、太一君の同級の生徒たちは、みんな元気に、學校へ出て來ました。太一君の同級生は、向島園の園長が、かすみのやうに美しくなつて、休みの時、目に見えなかつた。休みの時、みんな屋上運動場に近づく、太一君の同級生は、みんな屋上運動場に近づく、太一君の同級生は、みんな屋上運動場に近づく...

新妻 久満男選

叶多 重雄

雷の音遠くとして、夕風が扇をもちて庭に下りた。木の花は、さくらんぼの花の、さくらんぼの花の、さくらんぼの花の、さくらんぼの花の、さくらんぼの花の...

潮聲 視察帳

中野 武門

丹念に凍てつた頬を直し、氷柱に空を透して、水柱に空を透して、水柱に空を透して、水柱に空を透して、水柱に空を透して...

誰が殺したか

小 龍造 寺 龍造

誰が殺したか、誰が殺したか、誰が殺したか、誰が殺したか、誰が殺したか、誰が殺したか、誰が殺したか、誰が殺したか...



二十三日(大暑) 二十四日(立秋) 二十五日(処暑) 二十六日(立秋) 二十七日(立秋) 二十八日(立秋) 二十九日(立秋) 三十日(立秋)

最近の純文藝動向の反社會性 中西 正行

文藝家にならうとする世界観によつて、超時空の制限の、社會的の虚栄心の強めに、規定され盡してゐる...

前田醫院 院長 前田 清美 植田町電話二二四

美味で評判の イワキサロン 平町電話三五二

吉例土用丑 牛肉大賣出し 二十四日土用の丑 二百々に付

暑中御伺ひ 丑の日大賣出し 大蒲焼 うなぎ丼 松本樓

磐城代表的の土産品 山. 靈峰羊羹 各一本金十銭

増車御披露 陸の王者として定評ある流線型ダツチ プラザース一二輛増車致しました。

山光堂佛具問屋 祖先崇拝 家庭繁榮ノ礎!!! 新盆の戒名人提灯

去年の今頃に比べて 一日平均五十車の増

鐵道其他方面共に好況

去る十一日以降 九越 合計四、九一四車
二十日迄の常盤 五九、五一六越
炭山元發送高は前年同期に比し
前旬に引續いて (増差) 營業用二三五車
の明かな増加 二、二七九越 省用一三
五車一、九二七越 合計
營業用三、五 三七〇車四、二〇六越
八四車四二、去る一日以降の上旬旬
三二七越 省通算すると千四百八十八萬
用一、三三〇千三百二十三越を増して
車一七、一九

磐中平商何れも 二日目准々決勝へ

第十四回縣下中等
球野 校体育大会野球
は昨二十日より四日間に
島市で開催、第一日目磐中
平商は何れも一勝、二日目
准々決勝に進んだ
△磐中 17-2 白河
午後零時三十分開始、
七回コールドゲーム
△平商 13-3 21004
14-4

磐中軍終に捷つ

野球二日目壯觀

健棒好打を逞ふした

第二日目准々決勝磐中对保十二對等のスコアで大勝進
原中學校は今日二十三日午前決勝に進む
八時より福島市警球場で開
催、磐中萬全の守備もて敵
手を壓殺、健棒好打を逞
ふして順を獲ね遂に左の如く
(七回コールドゲーム)
保中 000000000
磐中 00435000 12-0

磐中との同志討て

平商に凱歌揚る

昨二十二日相馬中
球庭 村相中コートで
開催、戦績左の如く准々決
勝までは両校共一氣に押し
破り准決勝以後はスポーツ
いはきの獨り無蓋で結局熱
戦の果平商に凱歌上つた
第一回戦
平商 4-0 安達中
第二回戦
平商 1-2 若松商
磐中 4-2 安積中
第三回戦
平商 4-1 相馬中
磐中 4-0 福島商
第四回戦
平商 4-1 白河商
磐中 4-0 福島商
第五回戦
平商 4-0 田村中
磐中 4-2 双葉中

神職講習會

縣神職會石城郡支會では奉
修講習會を昨六日迄平町警署
月二日から六日迄平町警署
訓官院に於て神職講習會を
藤餘一兩氏

赤誠一票！の誓ひ

赤心一票！を期して郡内後一時半終了した
各地でも赤誠委員の宣誓
式が舉行されて居る
平町、清き一票を期して政
治を目標に平町の選挙
正第一回委員會が今二十三
日午前九時より町會議事堂
に全委員出席の下に開會、
憲法發布勸諭奉讀、青沼會
長の挨拶あつて、諸事に移り
午後各小學校で座談會を
行ふ
田村、二十日八日入選の上
野村、二十九日入選の上、
野村、二十九日入選の上、
野村、二十九日入選の上、

稲作座談會

山部三村に開催
縣主催の稲作座談會は郡山
農試本場丁技術師臨席の下に
左記日割で午前中現地指導
午後各小學校で座談會を
行ふ
田村、二十日八日入選の上
野村、二十九日入選の上、
野村、二十九日入選の上、
野村、二十九日入選の上、

動かぬ大綱を樹立し

健全な更生の途上へ

慎重以て方針を誤らぬ様

指定五ヶ村へ關係縣官から指示
郡内に於ける今年度更生
生指定村たる山田、夏井、
好間、鹿島の四ヶ村は夫々
村長を筆頭に委員を選任着
々の目的に向つて歩を進め
てゐるが縣ではその方針を
やまらぬやうに既報の如く
昨二十二日午前九時より前
記四ヶ村に今年度指定され
た双葉郡廣野村關係者五十
餘名を平町團體事務所によ
り縣側から
經濟更生課成島技師 水氏
兼商工課樋口主事 農交入
右方引立地籍より俄然
縣側から
昨二十二日午後九時半頃
間村岡田川炭礦(小田吉次
氏)の事務所にて逃げて
同村大字北好間字三段田
の字つた悲劇を演じた

三名は絶望か?

隅田川の出水變災
目下救出作業中
昨二十二日午後九時半頃
隅田川の沿原に成を振興等
を以て隊將と爲し、役に
に、山の土豪として既に
ひ、山の土豪として既に
ひ、山の土豪として既に

白水阿彌の第二回修理

本堂宇の特別保護建造物並に
境安置五佛像國寶各指定に
勿 來 生 (三)

右三郡のうち山本は、山の
北平野の北方に在る大郡で
御物川は此に至り玉川を合
せ、西走して船岡川を容れ
西北に流れて居る。清原武
則の居所は今尚不明で、
「雪の出羽路」なる郷土志
には、平鹿郡平鹿村(増田
町にこの名あり)麻富山頂
開く、毎日午前九時から正
午迄神社祭式、午後一時か
ら四時迄神樂を行ふ、講
師は神社祭式講師皇典講究
縣神職會石城郡支會では奉
修講習會を昨六日迄平町警
署月二日から六日迄平町警
署訓官院に於て神職講習會
を藤餘一兩氏

排水に必死

復舊に三晝夜
三名は一時に十三萬立方尺
の大出水だけに絶望を感
て居り、同礦では直に一分
間四百三十立方尺揚水の
ポンプを掘りつけ排水作
業に努めて居るが一時閉約
一尺位の減水で早くも二晝
夜乃至四晝夜は要するも
のと云はれてゐる

愈々來た暑熱

室内で九十三度
轉機反側暑熱が昨一晝を出し、縣社の杜邊
夜、明ければ愈々本格的な暑熱が
となつた、只居て汗が、點と今年始めて見る
あつた、冷湿の懸念夏は涼しい銀行四角角附
に、人無き脱衣場には、近所の遊歩道遊歩道に於ける
テリテリと照り上ると同時に各派の出入も豫想される
に明るい、歡聲はバツと揚つて午後二時現在平町の氣
温、町の水屋からは冷たい水溜室内で實に九十三度
品を削る音が一帯に涼しく

自分が遭難

虎吉さんの友情
出水騒ぎの突發するや大野
村生れ佐藤虎吉(同)さんは
後方部で働いてゐた同僚達
にその危を告げられ
自分の職場へ急ぎ道具類を
取つて逃げんとした折遭難
したもので危い處を助つた
同僚達は何れも虎吉さんの
友情に感激してゐると

悉皆準備を整へ

人を待つ四倉濱

明丑の日の人出豫想
四倉の脱衣場では明廿四日
土用丑の日の客を歓迎に就
き町當局と打合せをせし
萬遺物のなき準備を了し
た手具履ひいて客の雪崩れ
込むのを待ち構へて居る、
八時より正午まで平第二
因に來る廿八日は郡山講
に五百名の一團が乗り込
す土用味覺の犠牲になる牛

犠牲牛七頭

明丑の日と平原場
の字つた悲劇を演じた
同僚達は何れも虎吉さんの
友情に感激してゐると

美人の死体

他殺の疑ひ

其筋大活動を開始
泉村大字瀧尻地内畑中に推
定年齢二十五六歳、金齒を
入れた醜態の死体がある
を今朝通行人が発見届出で
に、植田署員が出張検視
した處他殺の疑あり平野署
刑事部長も参加活動中で
頭髪赤く、傍らにバラッ
美人的死体
其筋大活動を開始
泉村大字瀧尻地内畑中に推
定年齢二十五六歳、金齒を
入れた醜態の死体がある
を今朝通行人が発見届出で
に、植田署員が出張検視
した處他殺の疑あり平野署
刑事部長も参加活動中で
頭髪赤く、傍らにバラッ

教育講習會

石城郡教育
講習會で
郡生木水地蔵内喜久吉(三)
郡生木水地蔵内喜久吉(三)
郡生木水地蔵内喜久吉(三)
郡生木水地蔵内喜久吉(三)
郡生木水地蔵内喜久吉(三)

納涼演奏會

四倉町
小學校は来る廿三日午後七
時より児童の納涼演奏會が
開かれる
水産學校休業、四倉水産
青年學校に於ては明後二十
五日より夏休に入
平町春蘭會、平町役場
調査に於ける今春納涼
上瀬 一三七 五二六
五瀬 八 一六
層蘭 一九 三三
計一六四貫五七四圓である

納涼演奏會

四倉町
小學校は来る廿三日午後七
時より児童の納涼演奏會が
開かれる
水産學校休業、四倉水産
青年學校に於ては明後二十
五日より夏休に入
平町春蘭會、平町役場
調査に於ける今春納涼
上瀬 一三七 五二六
五瀬 八 一六
層蘭 一九 三三
計一六四貫五七四圓である

納涼演奏會

四倉町
小學校は来る廿三日午後七
時より児童の納涼演奏會が
開かれる
水産學校休業、四倉水産
青年學校に於ては明後二十
五日より夏休に入
平町春蘭會、平町役場
調査に於ける今春納涼
上瀬 一三七 五二六
五瀬 八 一六
層蘭 一九 三三
計一六四貫五七四圓である

日本石油株式會社特約店
關影商店平支店
本店 小戸線下館前
電話 六二一
支店 茨城縣土浦町田
電話 五五五
支店 常磐線四倉駅前
電話 八二四
支店 常磐線四倉駅前
電話 八二四
支店 常磐線四倉駅前
電話 八二四

油、重油、煤油、
油、重油、煤油、
油、重油、煤油、
油、重油、煤油、
油、重油、煤油、

腸胃病性
花柳病科
皮膚科
性病科
門 院醫科性胃腸村松
(番七〇一電町南町平)

御新盆の御用意下サイ
御戒名入提灯... 特製秋草、蓮花
其御用モノニ依リ スソ模様ノ
岐阜提灯各種...
カナラズ長ク安ク御用致シマス。是非御下命下サイ。
平四丁目 スガノヤ提灯店 電話 95

工町居住鈴木龍雄(三)の妻
フヂエ(三)は夫の檢査後三
名の幼児を擁養その日の獄
にも事欠き
昨二十二日迄自分は殆ど
吞まず喰はずの苦しみで
泣き叫ぶ子供等は附近
からのニギリ飯をやつて
ゐる
警察を今早朝フヂエが
其苦境を訴へられた係
の渡部司法主任は「妻子に
迄罪はない」と刑事協會か
ら白米七升に金五十圓を惠
まれ涙ながらに引下つて行
つた